

学習・教育目標（大学院）

コンピュータやネットワークの目覚ましい発達に伴う情報技術の進歩は、現代社会の様相を大きく変えつつあり、情報技術の社会的重要性は、今後もますます増大していくと考えられる。

本専攻では、情報技術の進歩に対応し得る応用力を強化し、統合力を身につけ、情報システム工学における自立した技術者・研究者あるいは管理者として社会で活躍する素養を備えた人材の育成を目指し、以下に示す学習・教育目標を掲げる。

1. 工学技術者の社会人・国際人としての素養の習得

- A. **【教養と倫理】** 幅広い教養と豊かな人間性、技術者としての倫理観を有し、情報技術の進歩が社会に及ぼす影響を理解した上で、責任ある行動が取れる人材を育成する。
- B. **【語学】** 情報技術者として、国際社会に対応するため、外国語によるコミュニケーションの能力を養う。

2. 情報システム工学の専門知識・技術、およびそれらを活用する能力の習得

- C. **【専門応用】** 情報システム工学の知識・技術を情報社会における諸課題に応用できる能力を養う。
 - C1. **【知的システム設計】** 通信・制御・信号処理を基礎とする知的システムとそれに関連する深い知識を身につける。
 - C2. **【知識工学】** 知識工学とそれに関連する深い知識を身につける。
 - C3. **【光情報工学】** 光情報工学とそれに関連する深い知識を身につける。
 - C4. **【情報数理学】** 情報数理学とそれに関連する深い知識を身につける。
- D. **【表現力】** 情報システム工学の諸課題を論理的に記述する能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を養う。
- E. **【計画・実行・まとめ】** 目標達成のための計画立案、遂行、結果のまとめ・検討など、一連の作業を計画的に進め、まとめる能力を養う。

3. 発展的工学技術者の素養の習得

- F. **【自主性・継続性】** 情報システム工学に関する知識・技術を自主的・継続的に学習・研究する能力を養う。

[2010年1月19日 承認]